

好き嫌いせず食べるのが秘訣 境田町の山内さんが100歳に

境田町の山内サノさん（大正4年生まれ）が9月1日で満100歳の誕生日を迎えました。9月4日に、宮古市の三陸病院ではお祝い会が開かれ、大勢の家族や職員が祝福。三陸病院を訪れた佐藤町長は「いい笑顔ですね。これからも長生きしてください」とお祝いの言葉を掛け、長寿祝い金を手渡しました。若い頃から料理や裁縫が得意で家政婦の経験もある山内さん。90歳までは自分で洋服も作っていました。長生きの秘訣を伺うと「好き嫌いせず何でも食べることです」と穏やかに答えてくれました。



山田のお菓子作り体験会開催 奥深いふるさとの味に挑戦

（公財）国際開発救援財団（ファイダー）と町民有志が企画・開催する、町内各地区の魅力を味わう体験会が、9月2日に行われました。織笠編に引き続き2回目となった山田編では、同地区のふるさとの味である「山田せんべいもち」作り。参加した26人は、和気あいあいとした雰囲気の中で、手作りならではの「手間」と「味」を体験しました。参加者らは、「孫たちに作ってあげよう」「離れて暮らす子どもに作って送ろう」と、新たな楽しみに心躍らせていました。

山中男子ソフトテニス部がベスト8 全日本ジュニアソフトテニス大会

8月16日から19日にかけて、千葉県の子子町テニスコートで文部科学大臣旗文部科学大臣賞状争奪第26回全日本ジュニアソフトテニス大会が行われ、山中男子ソフトテニス部がベスト8の成績を残しました。今回は、ソフトテニス部の部長を務めた上林想来君（3年）にお話を伺いました。

◎予選リーグを全勝して突破

山中は8校で競う予選リーグを全勝で突破しました。上林君は「全勝で突破できてうれしかったです。メンバー全員がよく戦った結果だと思います」と当日を振り返ります。

◎トーナメントを勝ち上がりベスト8

決勝トーナメントでは強敵を相手に勝ち上がりベスト8の成績をおさめました。試合内容について伺うと、「この結果はうれしいが、やはりもっと上を目指したかったです。しかし、今まで勝てなかった湯本中学校に勝つことができたのは自分たちにとって大きな経験になったと思います」と、喜びと悔しさの



山中男子ソフトテニス部。下段左から古田廣翔（3年）、川端空翔（3年）、鈴木一左（3年）、阿部康将（3年）、福士優（3年）。上段左から古田優翔（3年）、福士尚斗（3年）、大畑隆志（3年）、上林想来、内館雅貴（3年）
《敬称略》

両面をにじませました。

最後に上林君は「ご支援ご声援を受けて全国の舞台上で戦うことができ、このような結果を残せました。ありがとうございます」と笑顔で話してくれました。



町のわだい

今月の題字 瀬川 結唯君（荒川小2年）



豊間根中で町長の出前授業 山田の未来について考える

8月31日、豊間根中学校（青柳清隆校長）で町長出前授業「君たちの郷土、山田未来まちづくり」～山田町総合計画「中学生からの未来提言」～が行われました。これは、生徒に町の復興事業を理解してもらいながら町の未来を考える場としてほしいと行われたもので、3年生35人が参加。生徒らは、佐藤町長の説明に真剣に耳を傾けていました。授業の最後に、「商業関係以外の施設の建設の予定は」「町全体をアピールしていく方法は」など多くの質問が寄せられ、生徒らは自身の将来を思い描きながら、町の未来を考える授業にしっかりと取り組みました。

ゆめ発信コンサート2015 優しい歌声が観客を包む

徐々に秋めいてきた9月12日の夜に町中央公民館小ホールで「ゆめ発信コンサート2015」が開催されました。これは、YAMADAゆめ発信プロジェクトが地元へ元気を、と毎年開催しているものです。4回目となることは本町出身のシンガーソングライター・「光」と関西出身のピアノデュオ・「グックル」が出演。訪れた約120人の観客に優しい歌声を届けました。コンサートの最後にはグックルが自身らの代表曲「サクラトレイン」を光と共に披露すると観客は大盛り上がり。演奏が終わったあとには止まないアンコールが会場に巻き起こりました。

